

令和元年11月12日

羽生市議会議員 様

会 派 名 拓政会

代表者氏名 会長 保泉 和正



行政視察報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1. 視察日程 令和元年10月30日(水)～31日(木)
2. 視察項目 第14回全国市議会議員会研究フォーラム
テーマ「議会活性化のための船中八策」
3. 視察参加者 保泉和正、島村 勉
4. 視察概要

第14回全国市議会議員会研究フォーラムが高知県高知市ちばさんセンターで開催された。主催は、「全国市議会議員会」、後援として「総務省」である。今回の議題は「議会活性化のための船中八策」を掲げ、基調講演、パネルディスカッション、課題討論などが行われた。

○1日目

全国市議会議員会会長の野尻哲雄氏(大分市議会議員)の挨拶から始まり、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島 岳志 氏の「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」と題して基調講演が行われた。その中で、

- ① 政治のマトリクス
- ② ラディカルデモクラシーとポピュリズム
- ③ リベラルの逆襲
- ④ 保守とは何か?

の4項目について講演が行われた。

セーフティーネットの強化vs自己責任、リベラルvsパターナル(父権的)をX軸とY軸を使い、歴代政権の名をあげながら現代政治を独特の手法で説明し、大変興味深い講演であった。

次に、「議会活性化のための船中八策」と題し、坪井ゆづる氏(朝日新聞論説委員)をコーディネーターとし、パネルディスカッションが開催された。

パネリストは高部正男氏(市町村職員中央研究所学長)、横田響子氏(株式会社コラボラボ代表取締役)、古川康造氏(高松丸亀町商店街振興組合理事長)、田鍋剛氏(高知市議会議長)の4名がそれぞれ意見を述べた。

坪井氏からは、行政監視機能をどうやって高めるか。地域の将来を見据えた政策論議を進めるために必要な視点とは何か。などの問題提起がなされた。

高部氏からは、議会への無関心。議員のなり手不足。女性、若者の参加などの取り組みについての発表があった。

横田氏からは、議会改革の具体的なアイデアとして、人口減を前提に中長期視点で街の目指す方向性の議論、ガチンコ議会を多様な人材で実施など女性の視点からの、議会改革への提言があった。

古川氏からは、人口減少や高齢化に向き合いながら、コンパクトシティの考えを取り入れ地域住民をベースにした、デベロッパーによるメインストリート再生計画について、報告があった。再開発成功のカギは、地域コミュニティの現存であると強調されていた。

田鍋氏からは、高知市議会の主な議会改革の取り組みについての報告があった。

○2日目

「議会活性化のための船中八策」と題し、昨日に引き続き、坪井ゆづる氏(朝日新聞論説委員)をコーディネーターとなり、事例報告が行われた。

事例報告者は、滝沢一成氏(上越市議会議員)、久坂くにえ氏(鎌倉市議会議長)、小林雄二氏(周南市議会議長)の3名からそれぞれ事例報告があった。

滝沢氏からは、「市議を目指しやすい環境整備への提言」として、5つの大項目と19の小項目で構成する提言について報告があった。大項目については、1.市民と議会の距離を縮める 2.選挙の困難さの解決 3.物理的課題の解決 4.取り巻く環境の解決 5.女性特有の壁の打破、について提言内容について詳細な説明ののち、早急に取り組むべき7点(①議会傍聴の改革・活性化 ②模擬議会、議会体験学習の実施 ③意見交換会の改革 ④広報PRの充実 ⑤選挙マニュアルの作成 ⑥議員報酬の適正化 ⑦女性フォーラムの開催)を選出し実施しているとの報告があった。議会改革推進こそ、議員を目指す人々を獲得する最大の力であるとの報告であった。

久坂氏からは、女性議員の現状の視点として報告があった。地方議会における男女の議員比率や年代別議員比率など、具体的な数字を示し課題を抽出した。そのうえで、環境整備に向けて 1.出産に伴う議会の欠席に関する規定 2.子の看護休暇に関する規定の整備 3.配偶者出産休暇の取得 4.ジェンダーに配慮した議会のための行動計画 などの提言がなされた。

小林氏からは、周南市議会の議会改革の歩みと行政監視機能の充実の2点について報告があった。議会改革については、議会基本条例にこだわらず、議会改革特別委員会を設置し、

できることから議会改革を進めていること。行政監視機能の充実においては、閉会中においても、重要案件(特定事件)について積極的に調査を行っていること。指定管理者制度を導入している73施設すべてについても、調査を行っていることなどの報告があった。

【感想等】

今回のパネラーや課題討論で発表のあった各市議会議員においては、私たち羽生市議会議員との議会に向かう心意気の違いを痛感させられた。

行政監視機能の充実として、目標達成状況を把握したうえでの、決算審査。行政の課題研究。不必要な予算についての減額修正などの実施が必要であると感じた。

議員の資質向上についても様々な意見が出されていたので、出来ることから羽生市議会においても実施していきたい。

この研修を参考に、議会の在り方を今一度考え、市民のために何が何が必要であるのか、改めて考える必要があると感じた。

令和元年11月12日

羽生市議会議長 様

会 派 名 拓政会
代表者氏名 会長 保泉 和正
島村 勉



行政視察報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1. 視察日程 令和元年10月31日(木) 午後1時45分～午後4時
2. 視察項目 香美市における議会改革について
3. 視察参加者 保泉和正、島村 勉
4. 指導者 香美市:比与森光俊議長、小松紀夫議員、狩野高廣事務局長
5. 視察概要

香美市役所5階委員会室において、比与森光俊議長、小松紀夫議員、狩野高廣事務局長から、香美市における議会改革についてご指導をいただいた。

議会改革推進特別委員会委員長の小松紀夫議員から説明を受けたのち、質疑応答を行った。主に、議会の活性化と開かれた議会の2つを大きなテーマとして視察を行った。

①議会の活性化

1. 細部説明書による明確な議案審議
詳細な提案説明を議員に配布することにより、明確な議案審議が行えるようになった。
2. 一般質問に一問一答方式を導入
制限時間60分以内での回数無制限。現在では、ほとんどの議員が一問一答方式で質問している。
3. 執行部の反問権を認める
一般質問の活性化、また、緊張感を強めるため、執行部の反問権を認めた。
4. 会派制の導入
5. 議会基本条例の制定

議会の活性化と充実に必要な基本事項を定め、積極的な情報公開と市民参加を基本とした議会基本条例を制定。

6. 議会議員政治倫理条例の制定

議員活動を行う際に遵守すべき行動規範及び道徳を定めた。特徴として、市民も主権者としての責務を盛り込んだ。

7. 常任委員会毎の行政視察

8. 講師を招いての議員研修

毎年1回開催。

9. 政務活動費の導入

10. 議員発議で産業振興条例を制定

地方創生の流れを受け、経済の地域内循環を基本とした産業振興を推進し、市の健全な発展と福祉の向上に資するため、議員発議で産業振興条例を制定。

11. 執行機関の附属機関に議員が参画しない決議

二元代表制であることを踏まえ、執行機関と議決機関の機能及び権限の分立の趣旨を全うするため、附属機関への委員には就任しないことを決議し、議決。

12. 議会のペーパーレス化に向けた調査研究

13. 予算決算常任委員会の設置

14. 通年議会導入に向けた調査研究

議会機能の柔軟性・効率性を高め、専決処分の防止。次年度予算に対する提案等、議会の活性化を図り、主体性、機動性を高めるために、通年議会の導入を調査・検討。

②開かれた議会

1. インターネットによるライブ中継並びに録画配信

2. 議会広報誌の充実

議員個々の議案等に対する賛否を掲載。

3. 常任委員会の審査を一日一常任委員会とした

以前は、3 常任委員会を同日同時刻に開催していたが、市民や議員の傍聴を考慮し、一日1常任委員会とした。

4. 議会報告会の実施

議会活動の状況を地域に出向いて市民に直接報告・説明し市政に関する情報の提供に努めるため実施している。市議会の機能を高め、活力ある発展に資する趣旨で議会報告会を実施している。

質疑応答

問: 常任委員会は、6月12月であっても、別の日で行っているのか。

答: 午前と午後に分けて行っている。

問: 予算・決算委員会は、日数が多くはならないのか。

答: 予算決算委員会を分科会方式で行っているので、特に問題は生じていない。

予算についても、細部説明書を事前配布しているので、時間の省略化が図られている。

問: 一問一答方式での時間は。

答: 質問のみで1時間

問: 反問権は実際に行われた例はあるのか。

答: 例は少ないがある。逆質問も可としている。会議規則に明記。

問: 議員発議の条例が策定された経緯について。

答: 議員が一般質問したが、執行部から策定する予定はないとの答弁があったため、常任委員会が中心となって、議員発議で制定した。

問: 議会報告会の頻度は。

答: 予算を中心として6か所。決算を中心として6か所で行っている。

今後は、PTA対象にも行っていく。

【感想等】

議会改革特別委員会を設置し、毎月積極的に協議を行っている。羽生市議会においても、議会活動や議員活動を活性化するためにも、必要であると感じた。

特に、説明をしていただいた、小松議員においては、8年前から積極的に議会改革に取り組んでいるとのことである。知識の多さに驚かされた。香美市においては、議会基本条例ありきでなく、出来ることから改革を進めている。羽生市議会においても、出来ることから改革を進めていく必要がある。

まずは、常任委員会の重複開催を解消する方向で、各議員に投げかけていきたい。